

わくわくの里だより

2019年2月号

小規模多機能型居宅介護
 わくわくの里
 瀬谷区橋戸 3-69-2
 045-300-0606
 発行責任者 飯塚陵子

ニヶ月や 天神様の 梅の花

左馬神社の梅もほころび始め、寒い中にも春の訪れを感じます。一方、今年はインフルエンザが大流行、毎日のニュースでも報じられています。睡眠、栄養、水分を十分に取り、温湿度に気をつけて予防していきましょう。

小林一茶



2月の壁面「オニとお多福」

1月は初詣に行ったり、福笑いを楽しんだりしました。

初詣



福笑い



お手玉投げてオニ退治!!



お誘い

参加費無料!!
 どなたでもご参加
 いただけます!



地域交流会
 ~歌声喫茶~

2月27日(水)
 14:00~15:00

~墨笑会~

2月18日(月)
 10:30~11:30

里の前に、パンの移動販売が
 来ることになりました。
 美味しいパンで大人気!!
 ぜひ買いに来てください!

鎌倉パン
 毎週木曜、12時頃



《認知症を知ろう⑪》

わくわくの里 看護師から

認知症の症状かも? 季節外れの服装

「認知症では?」と気付く行動の中に、「季節外れの服を着る」ことがよくあります。「寒いのに夏のような薄着で...」「変な格好はさせたくないのだけど。」などとお悩みのご家族も多いでしょう。このような時、本人の体調を心配して無理にでも着替えさせるべきか、放っておくべきか...。一体どのように対応するのが正解なのでしょう?

《どうして季節外れの服装をするの?》

認知症による判断力の低下がみられるため、寒暖差の判断や、周りの人と比べて自分の格好が違うという判断がつかなくなるためです

《正しい対応の仕方とは...本人を尊重することが大切》

このような認知症の方への対応として、「相手の意見に同意し、そのままにしておくこと」も重要な一つの手です。無理に着替えさせたりせず、まずは本人のしたい事を尊重するという対応です。そうすることで本人のプライドが保たれ、家族のストレスも減るはず。ただ注意としては、風邪や脱水など、体調を崩さないかは注意しましょう。室温を少しずつ調節したり、衣服の生地や厚さを変える、などの工夫をしながら見守りましょう

